

# 大会宣言

N関労東はこの1年間、年間休日方式の導入、2時間年休の廃止、新たな人事・給与制度の見直しなど会社からの合理化提案に反対し闘ってきました。自宅パソコン点検では茨城県労働委員会に「不当労働行為の救済の申し立て」闘いを展開しています。

50歳を向かえる労働者に対し、「一人で悩まない」を基本に呼びかけを行ない選択に悩む労働者と行動を共にしてきた。「仕事と介護の両立」で闘っている保坂夫妻を支え、「保坂さんを自宅近くの職場」へ転勤させる闘いを強化してきました。

「企業年金減額反対」の闘いは、最高裁で全面勝利しました。NTTの横暴を許さず、企業の経営姿勢を追及し、14万人の受給者、受給権者の権利を守ることができました。

地域会社では「今の職場で今の仕事を」という約束を反故に、料金、116、113、線路職場等々を広域集約・委託会社化が行われました。東京支店は1社へ統合し、また、NTTドコモサービス社の非正規社員が病気を理由に解雇、テルウェル東日本の契約社員の賃下げ強要など非正規労働者の実態も明らかになっています。持株の三浦社長は「経費削減等に取り組んだ結果、営業利益は増益となった」と、コスト削減をいっそう強めています。

大会討論では、10春闘での春闘アンケート、ストライキでの闘い、「50歳退職・再雇用」、派遣社員など非正規労働者からの労働相談活動、全国に広がった保坂さんを転勤させる闘いは「仕事と介護の両立」が社会的問題であり、NTTへ社会的責任の追求など、また、団塊の世代が退職をむかえる今、組織拡大は緊急の課題であることをあらためて確認しました。

私たちは、こうした討論、情勢もとで、向こう一年間の運動方針を決定しました。「50歳退職・再雇用」制度、「成果・業績主義賃金」制度の廃止、11春闘中心に派遣労働者を始め全ての働くものの生活と権利を守り、安心して働き続けられる職場をめざす。NTTに育児・介護休業法の遵守を始め人権無視の単身赴任・長距離通勤解消、保坂さんの転勤を勝ち取る闘いの強化、平和憲法9条を守り、組織拡大はあらゆる繋がりをいかして、取り組みを進め、非正規労働者への積極的な働きかけも意思統一しました。

「全組合員が力を合わせ、要求実現のため奮闘し、組織拡大に全力を上げよう」の大会スローガンのもと、励まし合いながら職場や地域において全力で奮闘していく決意です。

2010年8月28日

東日本NTT関連合同労働組合 第10回定期大会